

山形モチーフの作品で”山形らしさ” ”山形の四季”を感じるロビー空間を演出 「ダイワロイネットホテル山形駅前」に学生制作作品を展示

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）では、大和ハウスリアルティマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長 伊藤光博）と産学連携を行い、ダイワロイネットホテル山形駅前のロビー空間に、本学学生制作の山形をモチーフとした作品2点を展示します。

本取り組みは、「ホテルを利用する国内外のお客様に、訪れた際の驚きとともに、作品を通して”山形らしさ”や”山形の四季”などを感じていただきたい」という大和ハウスリアルティマネジメント株式会社の思いを受け、企画しました。

2023年11月から、本学大学院芸術文化専攻長の深井聡一郎教授ディレクションのもと、美術・工芸を学ぶ大学院生が制作に取り組み、ホテルの上質な空間に相応しい作品を完成させました。2つの作品は令和6年4月～8月31日まで同ホテルロビーに展示される予定です。

ぜひ多くの方に本取り組みをお知らせしたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

■展示作品

1 タペストリー／染色

天井から床までの大きな布に、絞染めと、日本の伝統的な染色技法である「型染め」*の技法を用いて鮮やかに染め上げました。天井まで届く大きな布に山形の名所が散りばめられていて、山形観光に向かう朝をイメージした作品となっています。ストライプ状に入る鮮やかなピンク色の線は山形の特産品紅花によって染められています（紅花染めは非常に退色しやすい天然染料のため、見る時期によっては色の濃度が異なります）。

※型染め：日本の伝統的な染色技法の一つで、和紙に模様を彫りぬいた「型紙」と、もち米から作られる「糊」を用いて文様を染め出す技法です。世界中の染色技法の中でも最も精緻な文様を染め出す技術とされています。

サイズ：約 縦 3m×横 7m

制作者：大学院修士課程1年 上關瑞華（ワセキ・ミズカ）



タペストリー

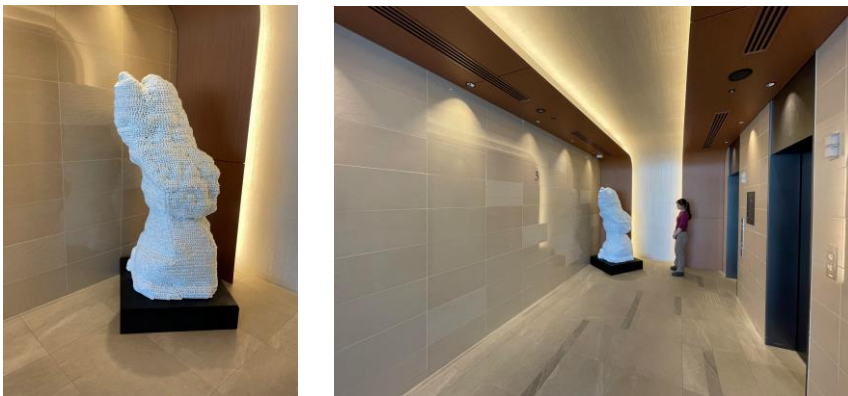
2 蔵王の樹氷／立体造形、ニッティング

山形県が誇る蔵王の樹氷をモチーフとした立体作品です。スタイロフォーム[※]及び発泡ウレタンで形をつくった上から、太めの毛糸を用いて覆いつくし、吹雪を受け止め日に日に成長する樹氷を表現しました。季節や場所を問わず、一風変わった山形の樹氷をお楽しみいただけます。

※スタイロフォーム：主に断熱材として使用される「押し出し発砲ポリスチレン」。断熱性能、耐久性に優れていながら、軽く、加工がしやすいため様々な用途で使用されています。

サイズ：約 幅1m×高さ1.8m

制作者：大学院修士課程1年 原型：菊地那奈（キクチ・ナナ）、ニット：高山結希（タカヤマ・ユウキ）



蔵王の樹氷をイメージした立体造形

■取材日について（要事前申込）

日時：5月9日（木）12:00～14:00

※上記日時に作者の学生および指導教員が取材対応いたします。

※他日・時間をご希望の場合はお問合せ下さい

場所：ダイワロイネットホテル山形駅前（山形市幸町2-9）3階ロビー

申込：ダイワロイネットホテル山形駅前 023-627-7255

5月7日（火）までにお申し込みください。

※取材希望の時間をお知らせください。

■本件に関するお問い合わせ先

取材に関する問い合わせ： ダイワロイネットホテル山形駅前 023-627-7255

作品に関する問い合わせ： 東北芸術工科大学 地域連携推進課（伊藤）023-627-2091

配信元：東北芸術工科大学 法人企画広報課 TEL:023-627-2246

MAIL:public@aga.tuad.ac.jp